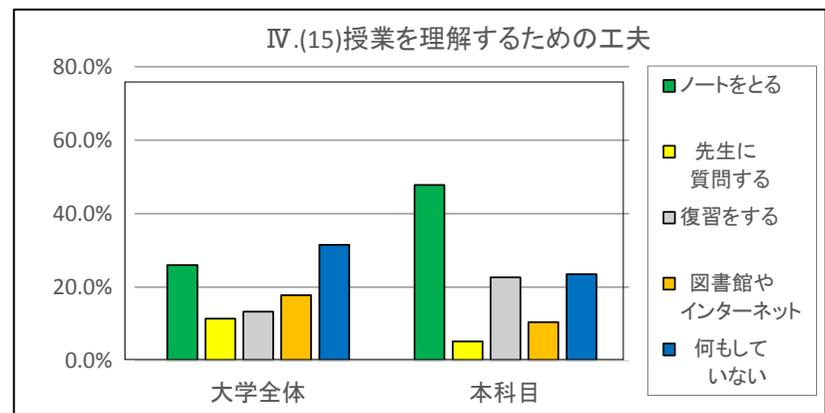


※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	47.8%	5.2%	22.6%	10.4%	23.5%



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.63	3.45
	I.(2)	3.67	3.56
	I.(3)	3.54	3.07
講義内容・方法	II.(4)	3.11	3.01
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.36	3.33
	II.(8)	3.46	3.42
	II.(9)	3.30	3.30
	II.(10)	3.45	3.23
	II.(11)	3.45	3.21
	II.(12)	3.49	3.48
	II.(13)	3.46	3.45
満足度	II.(14)	3.46	3.41

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.61	3.36
講義内容・方法 II.(4)~(13)	3.38	3.30
総合的満足度 III.(14)	3.46	3.41

授業年度	2017年度後期
時間割番号	32103
科目名	教育原理A(初等)
教員名	松田 智子

①授業計画の達成度について

学生の学力差、特に世界史や日本史に関する事前の知識量が差があり、全体として学習のレベルを合わせるのには、苦労したが、教科書を事前に読む課題を与えていたのが、個人差は大きいですが、ある程度達成度を高めたと、学生の毎回の感想を読んで感じる。

②授業の進め方について

毎回、事前に教科書を読んで自学自習をしてから、小テストをするというのは、採点に手間がかかり大変であったが、学生が教科書を大切にするという習慣が身についたと思うので良かった。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

小テストの解説をする形で、授業を進めていたが、学生の学力差(世界史、日本史)は、この時間だけでは何ともできないので、どこかでそのような時間を保証できるように願う。学生もこのような話は、興味深く聞いている。